

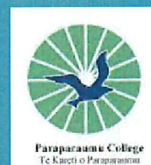
# Tosa High School & Paraparaumu College



## New Zealand Study Tour



### August 2023





## 4年ぶりのニュージーランド研修

引率教諭 渡邊かほる

2018年に始まった土佐高校のニュージーランド研修は、2019年に二回目を実施した後、新型コロナウイルスの世界的大流行の中で中止を余儀なくされました。マスク着用、ソーシャル・ディスタンスの確保、外出自粛、全国一斉休校、海外渡航の禁止…と、私たちの生活は、見えない脅威への対処に追われました。2023年5月より、日本への入国制限が緩和され、やっと4年ぶりに海外研修再開の運びとなったことを、大変うれしく思っています。

何年も我慢したのですから、できる事なら希望生徒全員を連れて行きたかったのですが、今回は、多くの希望者の中から選ばれた19名の幸運な高2生と中3生1名が参加しました。

土佐校生は、研修地となったウェリントン近郊のパラパラウム・カレッジで、バディと呼ばれる「相方」と一緒に授業に参加したほか、6日間のホームステイを経験。また、首都ウェリントンを観光したほか、国鳥であるキウィを自然公園で観察したり、大都市オークランドに移動して大学のキャンパスツアーに参加したりしたほか、本校78回生でオークランド在住の小松聖児・紗貴子夫妻に、海外大進学や就職へのヒントとなる示唆に富んだお話を頂く機会もありました。

この研修を果敢に乗り切ったすべての生徒の皆さんには、その勇氣、忍耐、協調性、主体的に行動しようとする姿勢を称え、高く評価したいと思います。その上で、言わずもがなではありますが、こうした得難い機会に参加出来たことへの感謝を忘れないでいただきたいと思います。

浜田一志校長、国際交流委員会の三木一宏先生をはじめとする諸先生方、そして、ニュージーランドでは、親切にもてなして下さったホストファミリーの方々、丁寧にご指導下さった現地校の先生方、細かな気配りで研修を支えて下さったISAの佐々木捷さん、現地校国際交流室長のジャッキー先生との事前の打ち合わせから現地での臨機応変な交渉に抜群の実行力を発揮してくれた本校のトマス・リチャードソン先生、準備から感動的な「さよならパーティー」まで、生徒を温かく見守ってくださった引率団の入交一夫、竹田謙介、佐竹純枝各先生方には、改めてそのご尽力に心よりお礼申し上げます。

ニュージーランド研修2023参加者

	学年	組	番号	生徒氏名
1	中3	C	25	松 岡 隼一朗
2	高2	T	16	近 澤 究
3	高2	T	30	網 野 日奈子
4	高2	T	38	武 内 あおい
5	高2	T	39	駄 場 早優美
6	高2	T	42	中 橋 優 美
7	高2	T	45	福 島 千 寛
8	高2	T	49	横 山 明佳里
9	高2	T	50	和 田 美菜季
10	高2	H	40	戸 田 彩 可
11	高2	H	45	馬 場 有 花
12	高2	O	34	貝 川 菜奈香
13	高2	O	40	高 橋 和 紗
14	高2	K	7	岡 崎 凌 次
15	高2	S	28	浅 井 穂 花
16	高2	S	45	御 庄 紀 子
17	高2	N	4	大 塚 正 敏
18	高2	N	36	小 松 彩 夏
19	高2	N	46	細 木 麻 央
20	高2	N	48	矢 野 絢 愛

引率教員

氏名
トーマス・リチャードソン
渡邊 かほる
佐竹 純枝
入交 一夫
竹田 謙介

ISA添乗員

佐々木捷
------

## 2023 ニュージーランド研修 日程概要

日数	日 付	時 刻	概 要
1	8/19 (土)	8:30 10:05 11:25 18:30	高知龍馬空港に集合、2階ロビーで出発式（学校長、生徒代表：近澤究挨拶）。 高知龍馬空港発（NH564）。 羽田空港到着後、専用バスで成田空港へ移動。 到着後、出国手続きと手荷物検査を済ませ、搭乗ロビーへ。 成田発、オークランド空港へ（NZ90）。
2	8/20 (日)	8:00 12:00 13:10 14:30	到着後、国内便に乗り換える。 空路、ウェリントンへ向かう。 専用バスに乗り換え、現地校パラパラウム・カレッジへ向かう。 校内に到着。迎えに来たホストファミリーと対面。ホームステイ開始。
3	8/21 (月)	8:30 10:00 11:30 12:35 13:35 14:15 15:15	ホストファミリー宅から登校。 Powhiri(マオリ式歓迎式)に臨む。 ESOL授業。 バディとそれぞれの授業に参加。 バディと一緒にランチ。 バディと一緒に授業に参加。 ホストファミリーと一緒に帰宅。
4	8/22 (火)	8:30 8:50 11:10 11:35 13:35 14:15 15:15	ホストファミリー宅から登校。 ESOL授業。 Tohunoで集会に参加。 ESOL授業。 バディと一緒にランチ。 バディと一緒に授業に参加。 ホストファミリーと一緒に帰宅。
5	8/23 (水)	8:30 8:50 11:10 11:35 13:35 14:15 15:15 17:00	ホストファミリー宅から登校。 ESOL授業。 Tohunoで集会に参加。 ESOL授業。 バディと一緒にランチ。 バディと一緒に授業に参加。 ホストファミリーと一緒に帰宅。 Nga Manu Nature Parkへキウィ鳥を観察に出かける（第1班）。
6	8/24 (木)	8:30 15:15 17:00	ホストファミリー宅から登校。 Te Papa National Museum博物館、ケーブルカー乗車など、ウェリントン観光。 ホストファミリーと一緒に帰宅。 Nga Manu Nature Parkへキウィ鳥を観察に出かける（第2班）。
7	8/25 (金)	8:30 8:50 14:30 12:30 15:15 18:00	ホストファミリー宅から登校。 バディと一緒に授業に参加。 さよならパーティーの準備。 近隣の農場を訪問し、動物と触れ合う。 ホストファミリーと一緒に帰宅。 ホストファミリーらを招いて、さよならパーティー。
8	8/26 (土)	7:30 7:45 9:00 10:45 11:50 12:45 13:15 14:45 15:40	カレッジに集合、ホストファミリーに別れを告げる。 バスでウェリントン空港へ移動。 国内線ターミナルに到着。 国内線でオークランド空港へ向かう（NZ420）。 オークランド空港に到着。 オークランド市内観光に出発。 オークランド大学キャンパスツアー。現地学生の案内で、オープン・キャンパスで賑わう構内を散策。一緒にランチを食べる。 ダウントウンを歩き、Sky Towerへ。展望デッキまで上り、市内を見下ろす。 ダウントウンでお土産物ショッピング。



		16:40	バスでホテルに移動。
		17:30	Ibis Ellerslie Hotel 到着。
		18:00	小松聖児・紗貴子夫妻（78回生）と座談会。海外大学進学、英語学習のコツ、 ニュージーランドでの生活や仕事について話を伺う。
		18:30	小松夫妻を交えて夕食会。
9	8/27（日）	5:00	ホテルロビーに集合。
		5:15	オークランド国際空港へバスで出発。
		5:50	オークランド国際空港到着。チェックイン。
		8:50	出国手続きを終え、空路成田空港へ向かう（NZ99）。
		16:50	成田空港着。羽田空港近くのエクセルホテル東急へバスで移動。
10	8/28（月）	7:00	朝食後、集合。シャトルバスでターミナル移動。
			到着後、搭乗手続きを行う。
		9:20	空路、高知龍馬空港へ向かう（JL493）。
		10:40	到着後、解散式を行い、解散。

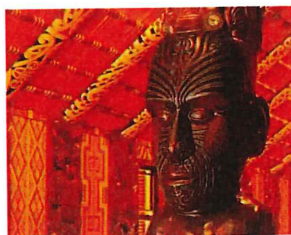
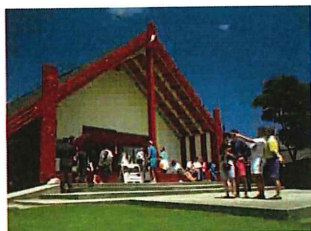






## ポフィリーマオリ歓迎式

ニュージーランドでは、マラエや現地校を訪問した際に、**Powhiri**（ポフィリ）と呼ばれるマオリの伝統的な歓迎式で迎えられることがあります。それぞれの場所で行われるポフィリは少しずつ異なる形式ではありますが、訪問される皆様に歓迎する為に静粛に行われる大切な意味を持つ伝統的な儀式です。



**注意；**各現地校で行われるポフィリはそれぞれ少し異なることもあります。以下に記載する詳細はその一例としてご理解頂き、それぞれのマラエあるいは現地校の指示に従ってください。静粛な儀式ですので、決してふざけたり笑ったりしないよう、儀式中は、常に真剣な表情で静かに歓迎を受けるようお願い致します。儀式の所要時間は約 15 分～30 分です。

**開始前。**訪問者はマラエあるいは現地校の門のあたりで待ちます。先方の代表者から合図があれば、女性が先にそして男性が後に続いて入場します。一旦中に入れば、男性が前列そして女性が後列に並びます。

(1) **Taki – Challenge** – マラエあるいは現地校内に入場する前に、一人のマオリ戦士が登場し、『Challenge』と呼ばれる挨拶をしてくれます。最近ではこの部分を省略することもあります。戦士が登場してきた際は、決して戦士に背を向けることをせず静粛にその挨拶を聞いてください。

(2) **Karanga – Call** – チャレンジの後、先方の女性達によって歌のような呼び声『Call』が発せられます。そのタイミングで訪問者はマラエあるいは校内へとゆっくりと入っていきます。先方の方々は、引き続き歌い続けて皆さんを導いてくれます。

(3) **Karakia – Prayer** – 校内に入り歌が終わると、少し静かな時間が持たれ、先方の代表者『Prayer』がご先祖様に感謝のお祈りをします。そしてお祈りが終わると、“どうぞお座りください。”と皆さんに声をかけてくれます。

(4) **Mihi – Speeches** – 皆さんがお座りになられましたら、先方の代表者が歓迎の言葉を述べて、歓迎の歌を歌われます。その後、皆さんの代表者（通常は、スピーチは大人男性）が感謝の言葉とスピーチを述べ、皆さん全員で返歌を歌います。

(5) **Waiata – Song** – それぞれのスピーチの後には、必ず歌が伴います。皆さんの返歌は、場の雰囲気や儀式に沿う為にも校歌が良いかもしれません。儀式中は CD プレーヤーなどは使えませんので、アカペラで歌って頂きます。返歌が終わりましたら再び着席して頂きます。

(6) **Koha – Gift** – 返歌が終わりましたら、皆さんの代表者から『Koha』と呼ばれる御礼の贈り物を先方代表者に渡して頂きます。コハの渡し方は、先方代表者の目の前の地面にそっと置いて頂く事になります。そして、先方代表者に背を向けないようにしながら後ろ向きに歩いてお座席に戻って着席頂きます。

(7) **The Hongi – Formal Greeting** – コハの受け渡しが終わりましたら、先方の方々は、一列に並びます。そして皆さんも一列に進んで、先方の皆さん全員と順番に『Hongi』と呼ばれる正式な挨拶をして頂きます。ホンギは、ご自身の鼻と相手の鼻を軽くくっつけ、同時に握手をします。鼻と鼻をくっつけるホンギの代わりにお互いの頬を合わせ頬に軽く短く口づけをする場合もあります。（ホンギに関しては、こちらに添付している写真をご参照下さい。）正式な挨拶ですので、真剣に行ってください。

(8) **Kai- Food** – マオリ歓迎儀式が終了しますと、軽食が用意されリラックスして頂く時間が設けられる場合もあります。（時間割の関係で省略されることが多いです。）





# Powhiri – Maori Welcome

In NZ when you enter a Marae or a school for the first time, visitors (**manuhiri**) are often given a special Maori welcome called a **powhiri**. Each powhiri is different, but they are very important. Respect your hosts (**tangata-whenua**) by keeping very quiet and following the tradition (**kawa**).



**\*\*\*Please understand that the way the Powhiri is performed will be different in each school. Below is an example of what you may experience\*\*\***

**Before you begin.** The visitors (manuhiri) wait at the gates of the marae / school until they are invited to enter by the hosts (tangata whenua). **Women are usually at the front and men behind. Once inside the men are at the front, the women behind.**

(1) **Taki – Challenge** – Before the visitors enter the marae / school, a warrior comes to meet them. This is not common now. If you have one, listen to your teacher and NEVER turn your back on a warrior.

(2) **Karanga – Call** - After the challenge a special call, like a song, is made by a woman from the hosts. Now enter walking slowly. The hosts may perform an action song.

(3) **Karakia – Prayer** - When you stop walking into the marae / school and the song is finished, you wait quietly and remember your family from the past. Sometimes a prayer is said. **You can now sit.**

(4) **Mihi – Speeches** – Once you have sat down, the host leader will stand and speak. After this the visitors must make a speech (usually the teacher / leader) Each speech is followed by a song. Usually it is only men who can speak. (But women can sing).

(5) **Waiata – Song** - Each speech is followed by a song. Your school song may be the easiest for you to sing. You must stand up to sing the song and sit down when you have finished.

(6) **Koha – Gift** – After the songs, the leader, or a student gives a small gift to the hosts. It is placed on the ground in front of the host leader. You then walk backwards to your seat.

(7) **The Hongi - Formal Greeting** – After the gift, the hosts will make a line. You go along the line and touch foreheads and noses. You also shake hands. Sometimes a kiss on the cheek replaces the hongi. Each marae / school is different. **DON'T BE SHY.** This is REAL Maori culture! See the first picture above.

(8) **Kai- Food** – Sharing food and drink after the Powhiri is a way for the groups to relax together and represents that you are now part of the school family. This may not happen at all schools.



# New Zealand 2023

## Where we went

### Auckland - The biggest city!

- ✧ University Tour
- ✧ Sky Tower
- ✧ Evening meeting with Tosa graduates



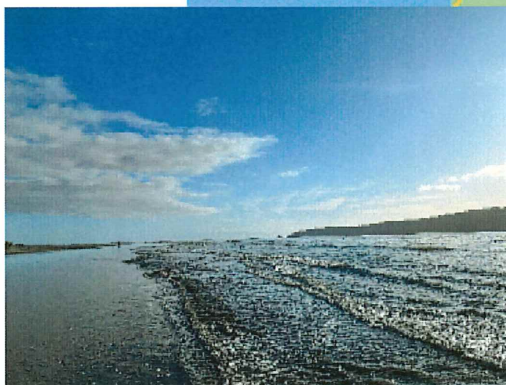
### Paraparaumu

#### Our Town!

- ✧ School Life
- ✧ Homestays

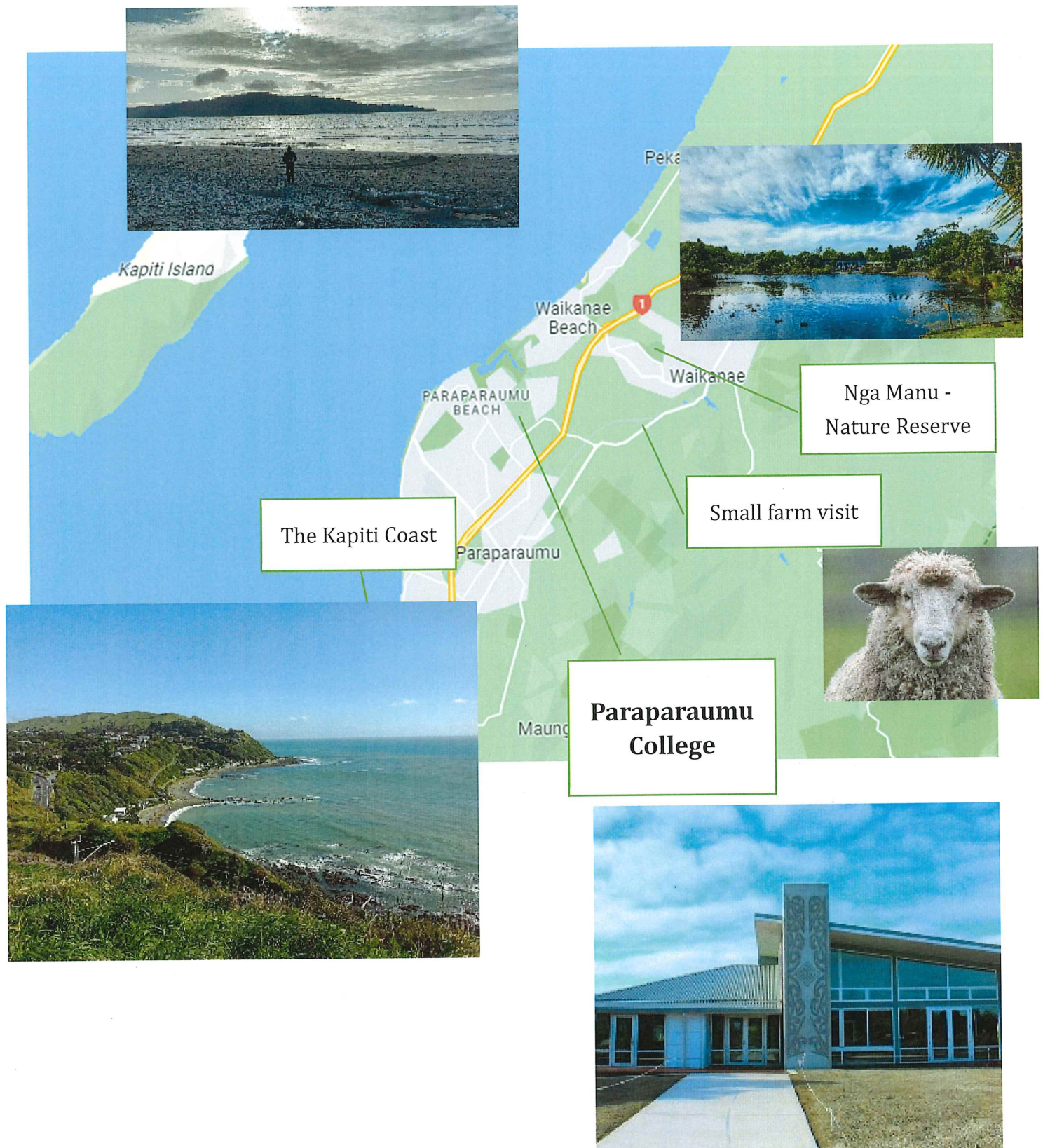
### Wellington - The Capital!

- ✧ Day trip
- ✧ Cable Car
- ✧ City Tour
- ✧ Te Papa National Museum





# A Closer look at Paraparaumu





# Mission 1: Homestays!

On the very first day in Paraparaumu, the students went straight to their homestays. What would happen? Read more and find out about their experiences!

## ホストファミリーとの交流

高2 矢野絢愛

私はニュージーランド研修の中でも特にホームステイすることをとても楽しみにしていましたが、ホストファミリーと初めて会う日は緊張して、上手くコミュニケーションが取れるか不安でした。でも、初めて会った時からホストファミリーはとてもフレンドリーに話してくれて、そんな不安も吹き飛び、英語をたくさん積極的に話そうと思えるようになりました。

私は英語のリスニングが苦手で、ホームステイをするまではホストファミリーが話してくれることを聞き取れないかもしれないという不安もありました。でも、分からなくて聞き返してもゆっくり話してくれたり、大きい声で話してくれたり、すごく親切に接してくださったのでとても嬉しかったです。

夕食の後の時間などに、高知から持ってきたお土産を渡して文化を紹介したり、一緒に折り紙を折ったりして、ホストファミリー宅では毎日楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。ホストファミリーにはとても感謝しています。これからも英語で積極的に話したり聞いたりする力を身につけ、努力していきたいです



Interaction with my host family

At first, I was worried about that I might not be able to communicate well with my host family, but thanks to the friendly host family, I no longer felt anxious.

At meal times, I talked a lot with my host family. Even if I could not understand everything they said, they spoke English slowly and easily. I was happy to introduce Japanese culture and my family. Also, they told me a lot about New Zealand. In addition, I had a really fun time with my host sister, making Mt.Fuji with Origami I brought from Japan.

I was happy that I was able to speak English actively during the 5 days of my homestay. I am very grateful to my host family for welcoming me so warmly. Thanks to my host family, I learned the joy of speaking English. From now on, I want to speak English actively by using my great experience during this homestay.



私のホストファミリーは、今までにも留学生を受け入れたことのある夫婦で、とても人懐っこくてかわいい黒猫を飼っていました。初めての海外でわくわくと不安でいっぱいでしたが、二人の優しさにすごく助けられました。

会った日に、近くのビーチや丘の上に連れて行ってもらい、とても綺麗なニュージーランドの景色に圧倒されました。ドライブや夕食のときなど、この研修に参加した一番の目的である英語力を伸ばすために、何でも思ったことを聞くよう心掛けていました。本場の英語はやっぱりスピードが速かったり、単語が聞き取りにくかったり全てを理解することは難しかったですが、お願いを快く聞いてくれたり毎日色々な体験をさせてくれて、楽しく英語を学ぶことができました。ホストマザーが作ってくれた料理は、どれもおいしかったです。油物が多かったり味が濃かったり、食文化で一番日本との違いを感じました。好き嫌いの多い私でも色々な初めての食べ物に挑戦することができました。

最高のホストファミリーのおかげで、初めてのホームステイが最高の思い出になりました。

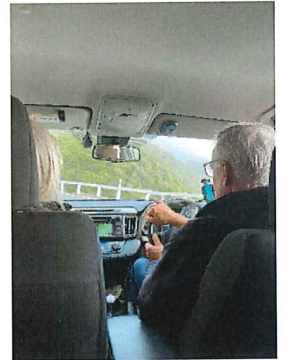


My Kiwi family was a couple who had hosted international students before. On the other hand, it was my first overseas experience. So, despite the fact that I had been looking forward to it, I was also nervous until I finally met them! It turned out, however, that they were very warm and friendly, and I greatly appreciated their kindness through which I gained a lot of valuable experiences. One night, for example, I was invited to a very nice dinner at the house of my host family's friend. They had three international students from China, Japan, and Thailand. We all shared our views and feelings that we had gained from staying in New Zealand. It was such a pleasant time!

One of my main purposes in my homestay was to improve my English. While staying in New Zealand, however, I knew my English was not good enough, so I had to concentrate very hard on listening to people around me having ordinary conversations. Because of my efforts to talk to people as often as I could, I now think this helped me a lot in improving my English.

Another interesting observation I made was the differences between Japan and New Zealand in various things, including the cityscape and food culture. While learning about New Zealand culture from my host family, I was able to tell them about Japanese culture, such as chopsticks and Yosakoi dancing.

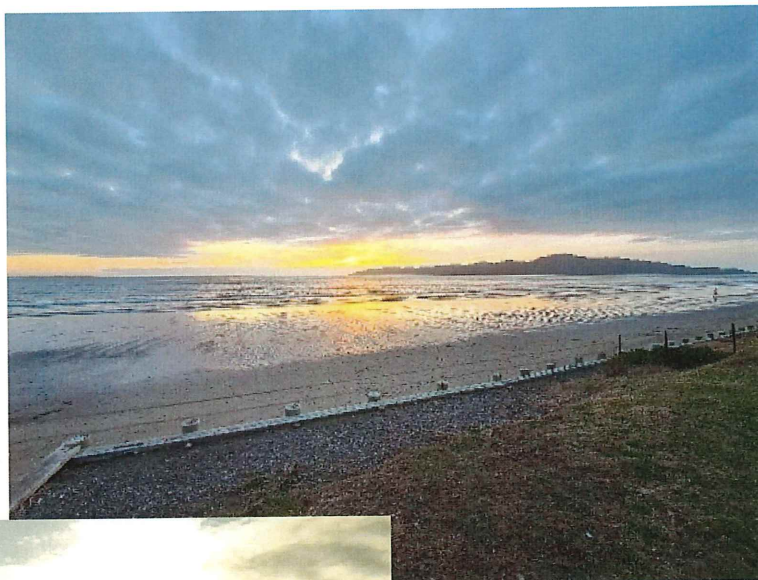
Thanks to my host family, I had a great time on this program.



私はパラパラウムでの研修の間アニータさんの家にホームステイをさせていただいた。お会いする前は本当に緊張していて不安でいっぱいだった。顔を合わせて家に着いた後、アニータさんはドライブに連れて行ってくれ、パラパラウムの街並みやビーチを案内してくれた。その夜はチキンカレーを作ってくれた。ベラという犬とサーフィとレオという二匹の猫がいたということもあり、不安はまだ少しあったがとても楽しかった。

翌日からは現地校の研修が始まり、学校が終わった後はモールに連れて行ってくれたりいこの方やご友人とお会いしたりした。現地のパラパラウムビーチに行くことが多かったが、カピティ島と海との景色はとても美しかった。また、ご友人の家に行ってそこで飼っている馬や牛と触れ合ったりもした。料理もとてもおいしくてニュージーランドで有名なお菓子もたくさん作ってくれた。会話も上手く聞き取れなかったり伝えられなかったりしたこともあったが、アニータと話をするのは楽しかった。

アニータと別れる日はとても寂しかった。いつの間にか不安は消えていてずっとここにいたいと思うようにもなっていた。アニータはこの短い間で様々な経験をさせてくれた。この思い出は決して忘れないだろう。



アニータと パラパラウムビーチ



## MEMORIES WITH MY HOST MOTHER

Mao Hosogi (Second grade)

Before I met Anita, who is my host mother, I was really nervous. After we got to her house, she took me for a drive and showed me around Paraparaumu. She cooked chicken curry for dinner and it was so good. There was nothing to worry about.

She provided me with a lot of wonderful experiences, like going to the beaches, her delicious cooking, and making famous sweets of New Zealand together and so on. Also she was so friendly and she always treated me like family.

I was happy to spend time with her and I will never forget these memories! I hope to see her again someday.



チキンカレー



ニュージーランドのお菓子



ベラ、レオ (左)、サーフィ (右)



バディと一緒に

私のホストファミリーは皆とても親切で、滞在は約6日間という短い期間だったにも関わらず、私は多くのことを経験し学ぶ機会に恵まれた。

初日にホストマザー、シスターと一緒にいった海辺で、カピティ島について教えてもらい、夕日を眺めながら話した。丘に登ったときには、ホストマザーが越してきた当時のパラパラウムの様子を教えてくれた。友人のアーティスト宅、スーパーマーケットにも連れて行ってもらった。夕食後にした折り紙は思いのほか盛り上がり、それからホストシスターと話しやすくなった。ホストファザーはお得意のジョークでよく笑わせてくれて、いつも夕食の準備をしながら私たちの相手をしてくれた。お互いの国について話し、よくニュージーランド英語やマオリ語を教えてくれた。

このホームステイでは、その国の生活様式を体験するなかで、主体性を持つこと、自立することの必要性を実感することができ、自分を見直すいい機会にもなった。



←ビーチで



←さよならパーティーで



## A Great Time with My Host Family

Kazusa Takahashi

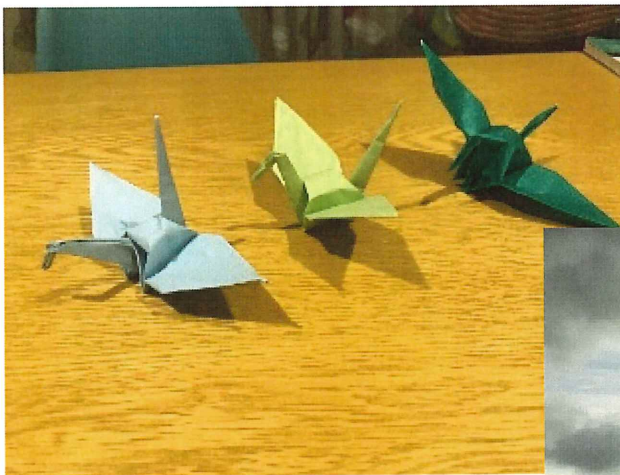
My Kiwi host family was incredibly hospitable. Despite my brief 6-day stay, I learned a lot from them, and the homestay became a truly unique experience for me.

One of my most impressive memories is when, on the very first day I arrived at their home, my host mother drove me to the beach. While looking over the ocean, she explained about Kapiti Island, which is one of the New Zealand most important nature reserves.

Another memorable event was that we walked up the hill to the top where we enjoyed a panoramic view of the whole town of Paraparaumu. I also liked shopping at a local supermarket with my host family, and meeting a local artist who is my host mother's friend.

Cultural exchange during the homestay was particularly successful when I showed my host family how to make origami. Such simple act of making paper cranes with origami together seemed to bring me and my host sister closer. My host father always amused me with his jokes and taught me Kiwi English and Maori language.

Through the interaction with my Kiwi family in this homestay program, I realized that I had to become more independent. Not only did my communication skills in English improve, but this homestay program also provided me with a valuable opportunity to experience the New Zealand way of life and develop my sense of responsibility.



↑ Origami paper cranes



↑ Kapiti Island

私が五日間のホームステイの中で、最も印象に残ったのはホストファミリーと一緒に外出をした経験だ。

私はホームステイ二日目に海岸に行き、そのあとスーパーに連れて行ってもらった。海岸ではニュージーランドの人の海岸での過ごし方について教えてもらいながら、散歩した。買い物にも行ったが、現地のスーパーはそのとき初めて行ったので驚くことや何かわからないものも多く、ニュージーランドの食材などについて聞き教えてもらった。お土産を買うために四日目にもスーパーに連れて行ってもらった。現地で人気な食べものを聞くと様々なものを勧められ、買い物が終わった後も会話が弾んだ。外出を通して異文化をより感じる事ができたと思う。

現地のいろいろなものを実際に見聞きしながら話すことで普段の日常的な会話よりも深くコミュニケーションをとることができ、様々なことに興味を持ち、自分から話す大切さを学んだ。ホームステイ先で過ごした時間はとても濃く、貴重な体験をすることができたので今後に生かしていきたい。



#### Cross-cultural Experiences through Outings with My Host Family

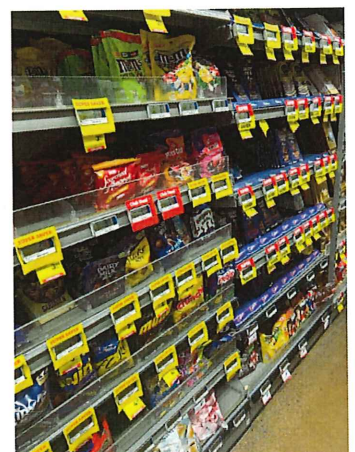
The most memorable part of my homestay was going out with my host family to various places after school. I especially enjoyed driving to the beach and shopping at a supermarket with them.

When we went to the beach, we took a walk together and talked about how people in New Zealand spend their time at the beach. At another time at the local supermarket, I asked my Kiwi family about New Zealand food items, and they kindly explained to me about them. It was very interesting to see a lot of things I had never seen in Japan, and I also found out that it was a good way to develop conversations with my host family. My Kiwi family also gave me food recommendations which helped me later pick out souvenirs to bring back home with me.

While spending time together with my host family, I found myself picking up new



vocabulary through our conversations. I also realized that it is important to take initiative in communication by asking even simple questions, which will lead to enhancing my understanding of different cultures and values.



I would like to make the most out of this valuable experience in my future.



南半球にあるニュージーランドは、思ったより寒く自然が豊かな国だった。そこで出会ったホストファミリーは温かく僕たちを迎えてくれ、いろいろな意味で大きな家族だった。僕たちは、緊張しながら対面したが、さわやかな笑顔で迎えられすぐに打ち解けることができた。ホストファミリーは、ニュージーランドの日常的な生活を身をもって教えてくれた。着いたその日にスーパーに寄り皆で食べる現地の食材を揃えたり、ウェリントン市内で外食に連れていってくれたり、海岸で散歩したりした。

ホストファミリーとの生活はとても新鮮で、英語を上達させる良い機会となった。ホストマザーはパラパラウムカレッジの歴史の教師で、高校生と日常的に接しているので、僕たちの気持ちを察してくれ、英語もゆっくりと分かりやすく話してくれた。ホストファザーは、日本のアニメオタクで話が面白く、「お好み焼きやオムライス等が食べたい」、「いつか日本に来たい」と言っていた。二人とも食べるのが大好きなので、次に会うときは、僕が腕を振るって二人をもてなせるよう料理を習い、日本を案内してあげたいと思っている。2025 年に来日する予定とのことなので、英語もブラッシュアップして成長した姿を見せることが今の目標だ。そして、僕が老後を迎えた際には、ニュージーランドに住み、彼らと交流したいと思う。



The host family we met when we first arrived at Paraparaumu College welcomed us warmly! It was a big family in many ways! We were nervous when we first met them, but they welcomed us with kind smiles and we immediately felt at ease with them. Our host family taught us about daily life in New Zealand. It was a great opportunity for me to improve my English. My host mother is a history teacher at Paraparaumu College, and she interacts with high school students on a daily basis, so she was able to understand us and spoke English slowly and clearly. The host father is a Japanese anime geek with interesting stories. They told us that they would like to visit Japan someday. They both love to

eat, so the next time I see them, I would like to learn how to cook to treat them and show them around Japan. And, finally, when I reach old age, I would like to live in New Zealand and be friends with them!

私がフェリス家にホームステイした七日間の中で最も印象強く覚えているのは、「あ、私は本当にこの人  
たちと家族になれたんだな」と感じた瞬間だ。

始め、自分がホストファミリーに対し家族の一員として振る舞えていないように思った私は、少し勇気  
を出して、暇さえあればいろいろと話を振ってみることにした。すると、ホストブラザーと話をするうちに、  
人形遊びやヒーローごっこを一緒にするようになった。笑顔で必殺技を繰り出してくるのが可愛くて、嬉し  
かった。ホストファザーのショーンに、「チェックメイトってなんだかっこいいと私は思うんだ」と言う  
と笑ってくれて、それだけのことがすごく嬉しかった。

そうやって徐々に距離を詰めていく中で、ホストファミリーが、私のことを本当に大切に思ってくれてい  
ることをひしひしと感じる機会がたくさんあった。私の将来の夢を覚えたり、名前の発音を練習したりして  
くれて、彼らともっと仲良くなりたい、たくさん話がしたいと思った。言語や文化の違いなんて気にならな  
くなった。

最終日、お別れパーティで、ショーンが私の動画を撮影してくれていたとき、フェリス一家と本当に家族  
になれたと実感した。そのとき感じた喜びは、今も胸に焼き付いている。

▽ホストファザーのショーン  
お別れパーティにて

▽寝起きしていた部屋





## Kind Eyes

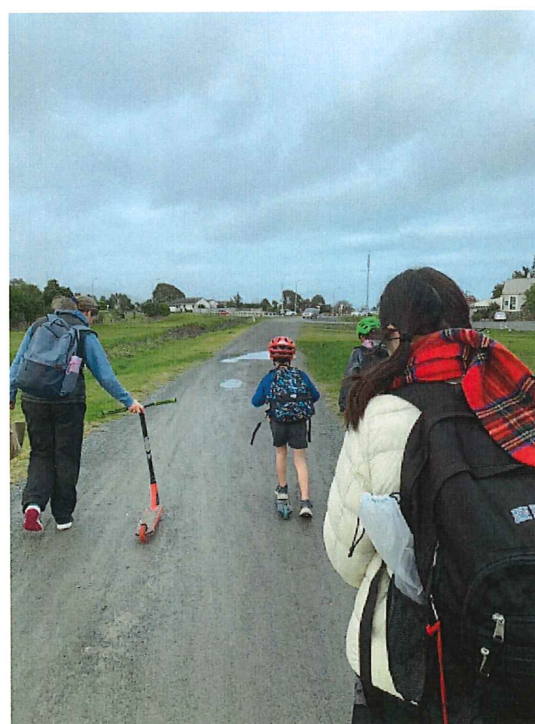
Hinako Amino

Second year of high school

I can't forget a lot of happiness I felt during this homestay. At first, I felt I could not behave as a member of the Ferris family. So I tried to talk to the family as often as possible. Jackson and Ryan, my host brothers, explained to me why their dolls were smiling, and Shaun, my host father, laughed at my joke. Michelle, my host mother, remembered what I want to do in the future. These are the moments which made me so happy though they might seem to be just tiny little things to others.

I realized that they cared for me so much, and I wanted to get along better and talk more with them. It didn't matter that our languages and cultures were different at all. When I was making a speech at the farewell party, Shaun was taking a video of me. I felt that I was a member of the Ferris family at that time.

▷Usual scenes in the morning



▽After the farewell party



## Mission 2: ESOL Classes at School

Every morning, the students spent some time studying English together at Paraparaumu with ESL teachers, Shirley and John. It was a great way to say hi to friends and study English in a NZ school environment.

### ESOL Class in Paraparaumu College

We went to Paraparaumu College in New Zealand from August 21 to August 25. I would like to introduce an ESOL class that was specially organized for us by local teachers.

This class was given for about 2 hours, and we learned about New Zealand's climate, geography and population. All classes were conducted in English, and I was able to experience classes similar to those for local students. At first I struggled with the speed of native English which I wasn't used to, but after taking a total of 3 classes in 5 days. I realized that not only my speaking skills but also my listening skills had improved.

2T Chihiro Fukushima



授業の様子。スライドを使って写真や動画を使ってわかりやすく教えてくれました。

ESOL Class とは、現地校の先生が私たちのために毎日二時間分の授業時間を使い、ニュージーランドについての様々な知識を教えてくれた、土佐校生だけの特別なプログラムのことです。授業は全て英語で行われ、プリントを通して講義形式で行われました。現地の生徒と同じような環境で行い、実際の授業を体験することができました。最初は聞き取りが上手くできず大変でしたが、慣れていくうちに普段の土佐校での授業とは違ったものを体験することができました。



ESOL Class でしたこと

First class—学校案内

School Pre test

Second class—地理や都市について

Third class—気候や食べ物について



最後の授業の日に Shirley 先生(後列左から二番目)とみんなで集合写真を撮りました

最後に

Through this class, I was exposed to native English and was able to improve my listening skills.

When I didn't understand much or didn't understand the meaning of the words, my friends around me helped me overcome it. Now that I know that my English skills are still not good, I want to put more effort into my studies from now on.

I was able to experience not only ESOL class but many other things at Paraparaumu college in five days. I would like to make use of these things in my future career.

私は Paraparaumu College で過ごした五日間で、ESOL Class も含めて他にもたくさんの経験をすることができました。この五日間でネイティブの英語に触れる機会がたくさんあり、自分の英語力はまだまだだと思ったので、これからもっと英語の勉強を頑張って国境を越えた沢山の人と関わりたいです。

この経験を進路選択や自分の将来にも生かしていきたいと思います。このプログラムに関わってくれた全ての方に感謝を伝えたいです。ありがとうございました。



ESOL とは English for Speakers of Other Languages の略称であり、ニュージーランドのパラパラウムカレッジでは土佐の生徒だけに向けて、現地の先生、Mrs. Sowry に授業をして頂き、最初の三日間の午前中に二時間授業を受けました。日常会話の仕方やニュージーランドについて学びました。最後の授業では、ニュージーランド定番のホーキーポキーを Mrs. Sowry が準備してくれて、皆で食べました。英語でニュージーランドの地理・文化、お金の歴史について、ホームステイ先でどうしたらいいか、現地スーパーの特徴など、色々な事が知れてとても興味深かったです。ニュージーランド研修に行く前に少しニュージーランドについて調べていたのですが、インターネットや本で得た情報と実際にそこで生活している人の話を聞くのとでは全然違いました。現地の先生と教室なのですが、土佐の知ってる人たちと授業を受けられるので、少し落ち着いて安心して授業を受けることができました。バディと授業を受ける前に、耳を英語に慣らすことができてよかったです。



Our ESOL Class at Paraparaumu College

ESOL means English for Speakers of Other Languages. While we were visiting Paraparaumu College, our ESOL teacher, Mrs. Sowry, gave English lessons just for Tosa students in the mornings.

First, we learned how to make everyday conversations smoothly in English. And then, not only did she teach us New Zealand geography, culture, and currency, Mrs. Sowry also showed us how we could improve our homestay experiences and some interesting features of their local supermarkets. I found it exciting to learn about the life in New Zealand from a native Kiwi teacher! Although I had studied about the country and its culture prior to the tour, the firsthand knowledge we gained in the lessons was a little different from and more impressive than the information I had found online.

Furthermore, the closed ESOL lessons with Tosa students greatly helped us relax at college each day before heading to the rather intense regular lessons with our buddies! At one time, Mrs. Sowry even prepared Hokey Pokey, New Zealand popular ice cream for us! We ate a tub of Hokey Pokey in class! I got a strange feeling while eating ice cream with the other students and teachers, which is something I couldn't imagine doing in Japan!

All in all, our experience at Paraparaumu College was a good mixture of intensity and relaxation, which I enjoyed the most in our ESOL lessons!

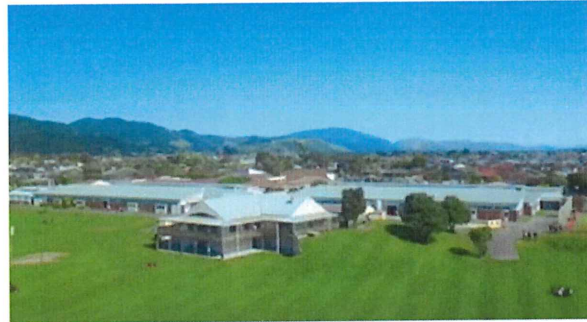
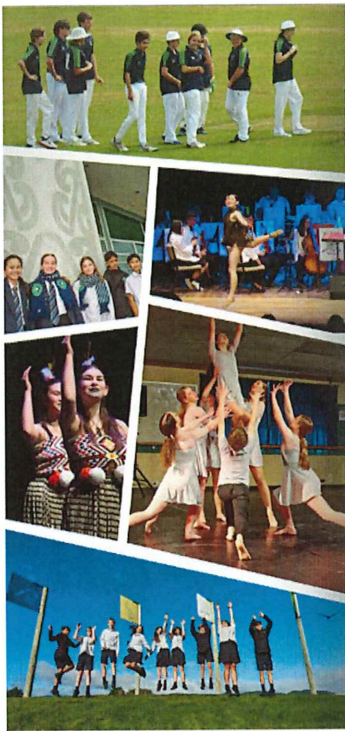


# Our Host School: Paraparaumu College



## PARAPARAUMU COLLEGE

Te Kareti o Paraparaumu



### Nurturing Creativity & Passion

Paraparaumu College fosters behind the scenes excellence. We have a proud history of mentoring experienced lighting and sound technicians, as well as stage managers, makeup artists and hairdressers. Many of whom go on to work in the industry.

#### Performing Arts

We have a multi-talented Arts Committee who ensure the range of opportunities available to our students are diverse and continue to be largely student driven. Students who contribute to and excel in this area are eligible to receive Arts Awards for Excellence in the Arts at Year 12 & 13.

#### DANCE & DRAMA

We provide a plethora of opportunities for those students who enjoy Dance or Drama performance and expression. Our students develop perform to a high level in a variety of local, regional and national events.

#### MUSIC

We encourage students to pursue excellence in many musical endeavours. We offer opportunities to perform at community events and have a number of professional collaborations who bring rich and varied practical experience to the department.

#### Opportunities

- Amateurs Orchestra
- Amateurs Choir
- Badminton
- Dance Competitions
- Drama Musical Productions
- Hip Hop Competitions Crews
- House Performances
- Jazz Band
- Jazz Ensemble
- Musical Mentoring
- Music Clubs
- Rock Band
- Stage Production Festival
- Technical & Production Roles
- Year 9 Talent Quest
- 40 Hour Film Competition



### Languages

Learning a new language is a great way to equip young people with the skills to succeed in our global economy.

#### FRENCH

Students gain an understanding of the French way of life and culture. They are able to communicate with others from French speaking countries, as well as participate in overseas trips to Tahiti or New Caledonia. Engaging young people in a second language will enable them to develop the confidence and skills to thrive in our global society.

#### JAPANESE

Facilitation of learning using devices is a key feature of the Year 12 Japanese course. They will learn to write, listen and understand Japanese. They will also learn to communicate in Japanese. Another key component is business culture. Students will learn to negotiate and negotiate. They also have links with French School in Japan.

#### SPANISH

Students learn Spanish through a range of activities. By the end of the course, they will be able to hold a simple conversation with a native speaker. Links to Monasterio School in Argentina, students will have the opportunity to build new relationships with young Argentinians, and they will be able to exchange.

#### TE REO MĀORI

Students learn how to communicate about themselves and their whānau in Te Reo Māori. They will develop their understanding of Māori culture and participation. To further extend their knowledge students are able to select to take Māori as a subject course.



### College Houses

Each of our four houses is related to our local history and mythology.



#### TE AKE TĀREWA (Māori, Colour - Green) Tōhok

Te Ake Tārewa is the original name of the Tairāwhiti region. It was upon the Tairāwhiti region that Māori and Pākehā first met and began to build a relationship. The great fish of Māori, the tūhā, was the symbol of the Tairāwhiti region. Te Ake Tārewa, meaning 'The suspended above'.



#### TE PAU-O-WHĀTIRI (Māori, Colour - Yellow) Whāitiri

Te Pau-o-Whāitiri takes its name from the legend of Hōiahi who took the form of a hawk and flew above the ridge of the Tairāwhiti region, leaving a trail of lightning clouds. As a result of the storm, Hōiahi is known as the Tairāwhiti region. Te Pau-o-Whāitiri, meaning 'The Sun of Lightning'.



#### MAUNGAKŌTUKUTUKU (Māori, Colour - White) Kōtuku

Maungakōtuku is a peak and valley which overlooks the Tairāwhiti and Tairāwhiti region. Its name derives from the importance of the Kōtuku, or Kōtuku, to the region.

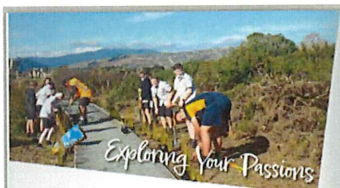


#### TE WAI-O-RONGOMAI (Māori, Colour - Blue) Rongomai

Te Wai-o-Rongomai is linked to the legend of Rongomai's mother, who took the form of a bird and flew above the Tairāwhiti region. As a result of the legend, the name of the river, the Wai-o-Rongomai, was given to the region.



A place for us all to stand



### Additional Options

#### FINANCIAL LITERACY

The aim of this course is to develop students' money management skills, show them how to 'make their money work for them' and help them make smart financial choices. This course looks at how to manage money, and how to make money work for you.

#### FOOD & NUTRITION

In Food and Nutrition students investigate current influences and trends of nutrition, identify and reflect on the factors that influence people's choices and use this to make informed choices through the process of selecting, preparing, cooking and serving food. Students develop creativity and a sense of accomplishment.

#### HORTICULTURE

In Horticulture students learn how to grow a variety of vegetables and herbs. Students gain an appreciation for different plant selections and growth requirements.

"Horticulture is a great subject. It gets you growing your own plants and vegetables and look after your garden."



#### MEDIA STUDIES

We look at how film works and how they affect audiences. Students learn the skills of photography, film-making, editing and film analysis. The hands-on parts of the course (with a dedicated computer suite) help students to understand and navigate the media-rich environment.

#### WONDROUS WORLDS

What is mythology? Why do people believe in myths? What makes someone a hero and why do we have them? In this course students explore the answers to these questions and more by looking at the world of the Egyptians, Greeks, Romans, Māori and Norse with our own.

"To teach us about ancient civilisations and how they relate to today's world. We do a lot of different tasks including movie studies and you look at ancient settings such as myths."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."



### Sports

### A Proud Tradition

We believe that sport of any type, in any form, is of huge benefit to students mentally, socially and physically.

Throughout our athletes perform with dedication in many sports. They have been nationally performing by our Paraparaumu teams making the following list:

• Basketball Boys and Girls - Premier

• Football Boys - Premier

• Hockey Boys and Girls - Premier I

• Netball - Top 10 All Lower North Island Secondary Schools and Top 4 MDS competition

Paraparaumu has a wide range of sports facilities to help our students achieve their goals.

Many of our students continue to compete in representative teams at provincial, regional and national level including Basketball, Football, Hockey, and Netball.

Sports stories and results are able to be viewed on the College Sports website, Facebook, Instagram and Twitter.

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."

"Take time to go to our own property in making films and taking photos."



## Mission 3: Making Friends with Buddies!

Each Tosa student had a local 'buddy' at school. They went to the same classes, had lunch together, and even hung out after school!

### *My New School Life in New Zealand*

高2 浅井穂花

My school life in New Zealand was very fantastic, stimulating and special for me.

I spend almost all my time at Paraparaumu College with my first friend, Liv. I took the same classes as her, like music and history of Rome. I also ate the lunch which my host-mother made with her and some of her friends in the library every day. They taught me a lot about New Zealand culture. For example, Pavlova, traditional sweets in New Zealand, and Pohutukawa, New Zealand Christmas Tree. My friend Liv has some of the same interests as me like playing games and watching anime. I promised her that we would play Splatoon and Minecraft together someday. She and I also had the same favorite anime. It was Violet Evergarden, and I was surprised that she knew about it. Honestly, I didn't believe that that anime has become popular all over the world, but she convinced me!

On the last day, she gave me some snacks and juice made in New Zealand. I was happy to get them and enjoyed more New Zealand foods. My best memory with Liv is when I went home with her after school. Luckily, she and I were going in the same direction home. I was so glad, it was as if we had become real close friends.

These photos below are a lunch box which my host-mother made and lunch time in the library with Liv.



### Summary (Japanese)

ニュージーランドでの学校生活はとても楽しく、刺激的で特別な日々でした。

私はバディであったリヴとパラパラウムカレッジでのほとんどの時間を過ごしました。リヴと同じ授業を受けたり、図書室で一緒にお昼ご飯を食べたりしました。また、リヴは私にたくさんのニュージーランドの文化を教えてくれました。リヴと私にはゲームやアニメが好きという共通の趣味があり、帰国したら一緒にオンラインゲームをしようと約束しました。

リヴとの思い出では放課後一緒に家に帰ったことが一番印象に残りました。本当に仲のいい友達になったようで嬉しかったです。



## What New Zealand has taught me

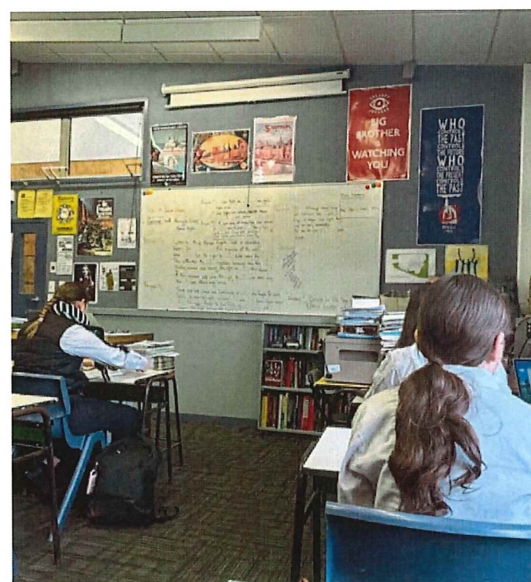
高2 中橋優美

パラパラウムカレッジは、1日に5コマあります。この学校では、自分の好きな授業を選択でき、カスタマイズできます。主な休み時間は、インターバルと昼休みです。インターバルとは、20分程度の休み時間で私たちはお菓子を食べたりゲームをしたりして過ごしました。



私のバディーはアロハという女の子でした。彼女のお母さんは日本人で、お父さんはニュージーランド人です。私が一番記憶に残っていることは、休み時間のことです。自分の好きな教科を選択しているので、アロハの友達と話す時間は、休み時間だけでした。アロハが紹介してくれた友達は、ほとんどがニュージーランド出身ではありませんでした。イタリアとのハーフ、中国出身の友達、両親が韓国人だがニュージーランドで生まれ育った子など、本当に様々な国の出身の子たちのグループでした。家で話すときはそれぞれの国の言語を使ったりすると言っていました。実際アロハは日本に住む祖父母と会ったときは家族全員と日本語で話すと言っていました。しかし、友達同士で話すときはもちろん英語でした。そして、授業で第3外国語を学んでいる人もいました。私は、たった14歳の女の子たちが母語と英語の2言語を操っていることに驚きました。私は小さい時から英会話教室に通っていますが、簡単な質問でも省略されたりすると答えられないことが多々ありました。しかし、完璧な英語ではなくても会話を続けることができました。アロハやその友達と過ごしたのはたったの3日でしたが、コミュニケーションツールとして英語を学ぶことがいかに大切かを学びました。また、自分の視野を広げるためには学び続けなければならないと思いました。

What impressed me most during the trip is the diversity of New Zealand. My buddy, Aroha, is half Japanese and half New Zealander, and her friends are from various countries such as South Africa, Italy, and so on. Each of them spoke English in addition to their native languages. When they talked with their friends, they used English, of course, but when they talked with their family, they usually used their native language, they said. Also some of them were learning other languages as a third language. I was very surprised at that. They used languages with different characters and grammar easily. For me, it is very hard to learn English, but I found that I can communicate with others even if my English is not perfect. During this trip, I realized how important it is not only to read and write but also to interact with local people when we learn English. I think English is the most important tool to talk with foreigners. I really want to continue learning English from now on.



## Back to Basics

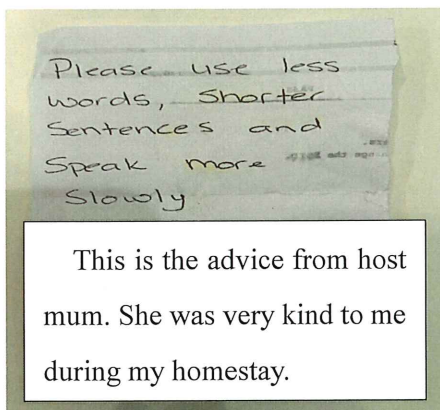
基本に戻って

高2 御庄紀子

2S 45 MISHO NORIKO

私のバディはいわゆる今時のティーンエイジャーで、早口な上にスラングや略も多かったので、私はかろうじて聞き取れた単語に曖昧に笑い、相槌を打つことしかできなかった。そうして受け身な形で貴重な二日間を消費してしまった。五日間しかない交流が半分にさしかかっていたこともあり、このままではダメだとホストファミリーに相談した。悔し泣きする私にホストマザーはこう諭した。「あなたは、バディにゆっくり長く話して欲しいとあなたの口で伝えなくてはならない」

↓ホストマザーが私に書いて渡してくれたアドバイス。親身に相談に乗ってくれたことが、本当に私の支えになった。



To be honest, when I first went to Paraparaumu School, it was really hard to communicate with my New Zealand Buddy. Two days of unsuccessful conversations with my buddy continued. Of course, my buddy is a teenager, so she talks fast and uses a lot of slang. I knew I had to do something to change this situation if I wanted to have a good time in New Zealand. My host mum gave me some good advice. She said, "You have to tell your buddy to speak more slowly and clearly."

もっと会話をしたい。そのためには分かりやすいようにゆっくり易しい言葉で話して欲しいと相手に意思を伝えることが大切。こんなごく簡単で当たり前のことを再度考え直し重要視することができたことは私にとって大きかった。このことを私はバディに伝え、無事に残りの日を実りあるものとして収めることができた。

今回のニュージーランド研修は私に、会話することの楽しさと難しさ、困難な状況を解決するアクションを取ることの大切さを改めて認識する機会を与えてくれた。この経験を幅広く生かしていけるよう、基本を忘れずこれからも謙虚に努力していきたい。



The one comment reminded me again of the need and importance of communicating my intention and how much I can really understand if I want to have a conversation. I will remember what I gained from this New Zealand training and will continue to try hard to learn a lot of things!



We spent four days at a local school, Paraparaumu College, with student buddies. The school building was so large that we often got lost. The students and teachers were from many countries and that alone gave me a sense of diversity.

We joined the classes our buddies were taking together. My buddy is an eighth grader and we had classes such as math and physics. I somehow could understand the classes, but the most difficult part was when I tried to communicate with her.

I had to speak English and I was at a loss as to where to start and what to say. Above all, I was worried about whether my English would be understood by the other. However, when I gathered up the courage to speak to her, she answered with a smile and spoke even more slowly. I felt safe with her and as the days went by, we gradually became closer. I really enjoyed the time I spent with her.

I will never forget this wonderful experience.

### 私のかげがえのない経験

私たちは、NZの現地校、パラパラウムカレッジで4日間、それぞれのバディーと一緒に行動しました。私のバディーは中学2年生でしたが、とても大人っぽかったです。

私は彼女が履修していた数学や、物理などの授業を受けました。すでに習ったことのある範囲だったので、授業内容は知っていましたが、当然ながら先生は英語で、それもかなりのスピードで話すので、先生の話完璧に理解することは非常に難しいことでした。

それでも、「この表現は英語ではこういう風に表すのだな」と勉強にもなりました。

現地校に通った4日間、一番長く共に時間を過ごしたのは当然、バディーとでした。最初は、何をどこから、何と話しかけたら良いのか分からず、とても苦勞しました。自分はとても無力だとも感じましたが、それでも少しずつコミュニケーションを取るうちに、自分の伝えたいことが自分の言葉で伝えられるようになりました。その時の喜びは今も覚えています。これからも忘れることなく過ごしていきたいと思います。

私はこの研修、特に現地校での経験で、恥ずかしがらずに相手とコミュニケーションを取ることを大変さと同時に大切さを改めて実感しました。これからも様々な人と話してみたいです。



バディとの交流で一番印象に残っていることは、やはりバディとの会話だ。私は今回初めて海外に行ったので、これほど長い間英語を母語とし英語で日常会話を行う人と一緒に行動することは初めてだった。もちろんの事であるが、やはり学校など日本で勉強するのと、現地で生の英語を体験するのは違っていた。

私のバディの名前は Luca だった。彼女は日本語を勉強していたので、自分の名前の漢字、意味などを教えたり、彼女の名前の意味も教えてもらった。初めてバディと一緒に受けた授業は数学の授業だった。そこでは円卓の机で、授業中でも友達と喋ったり先生への質問もすぐする、という話しやすい雰囲気だった。ニュージーランドの人たちは親しみやすく、すぐに挨拶をしてくれる。その授業でもすぐに挨拶をしてくれ、自己紹介をしあい、日本の話などをすることができた。授業の後はバディとバディの友達と私の3人でランチを食べ、話すことができた。初日でも話せたが、受け身だった。だが数日すると自分からも積極的に質問をすることができ、学校のテストや毎日の過ごし方などについて知ることができた。彼女は本当に優しく、自分が分からないことなどを丁寧に教えてくれ、学校での5日間を楽しむことができた。

英語で話していて一番驚いたことは相槌だ。例えば cool という相槌をよく耳にした。かっこいいという意味のイメージしかなかったので、このような使い方もあると知り、驚いた。その後は自分もバディとの会話やホストファミリーとの会話で使うことができた。

今回このバディとの交流でたくさんの事を学ぶ事ができた。英語の使い方、間の取り方、話し方だけでなくニュージーランドの文化や学校生活、バディの Luca のことなどもよく知れ、友達になれた。

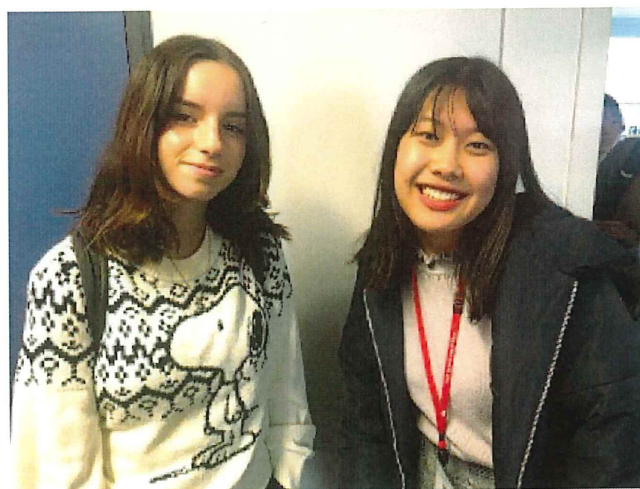
新しい友達ができた事や、たった5日間であったがこの充実したバディとの5日間はこれから生きていく上で本当に良い経験になると思う。

I spent wonderful five days with my buddy, Luca. She was a very kind girl. The first class with her was calculus. In the class, I was able to talk about Japanese music with classmates. People in New Zealand were very kind and friendly, so I could enjoy taking with them and relax.

I couldn't talk a lot actively on the first day at school, but in a few days, I was able to talk actively with Luca. I asked many things. We enjoyed talking about our school, school life, delicious food in our country and many other things.

I learned the difference between Japan and New Zealand, and how to communicate with people. Also, I was able to be friends with Luca.

The five days in Paraparaumu will be a wonderful experience in my life.

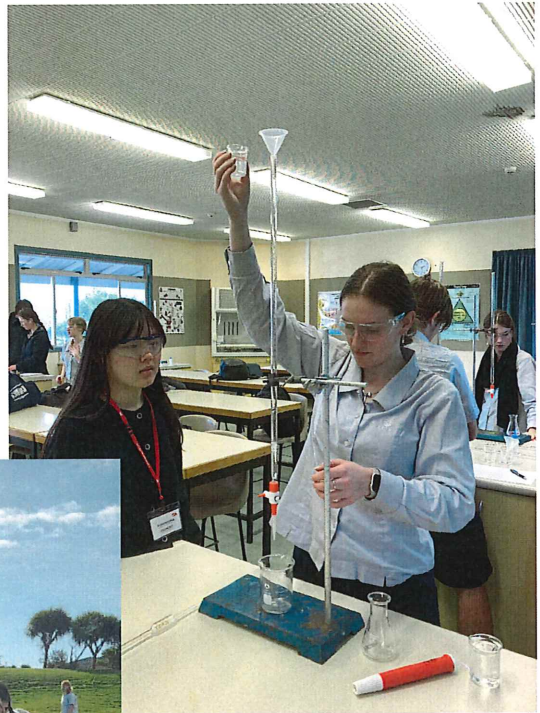
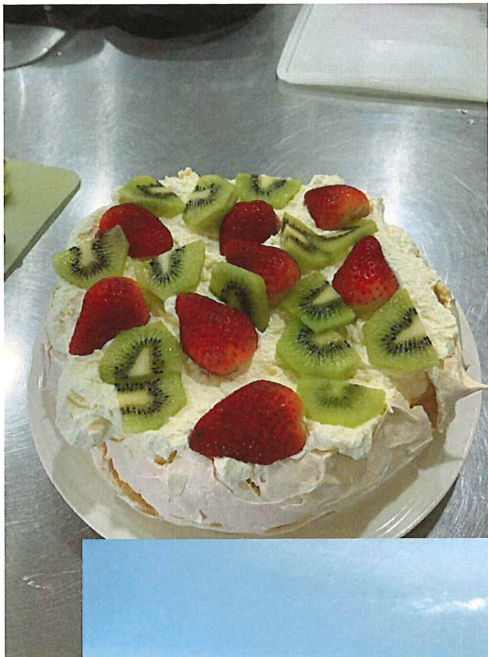




*Extra Thoughts from Honoka Asai.*

I want to talk about my host family, too! My host family gave me a lot of great experiences. They took me to the supermarket and beach near my house. Also, I played card games and crafting with my host-brothers. They are 6 and 7, I was glad to have little brothers younger than me.

My best memory was making Pavlova with my host-mother. The process to make it was very simple, but it was very sweet and yummy. This is a photo of the Pavlova.





## Mission 4: Taking part in all kinds of activities!

As well as school, there were plenty of other things to do! We visited Wellington, went Kiwi spotting and visited a local small farm. We got to experience many different aspects of life in New Zealand.

ウェリントン観光 (Kiwi)

高2 小松彩夏



One night during my stay in Wellington I saw a kiwi, a bird endemic to New Zealand. Locals told me that kiwis are shy and fearful, sensitive to people's noises, and that it is difficult to see them up close. Even after waiting 40 minutes, they may not be able to see the kiwi. But I was lucky enough to see the kiwis up close.

I will share some information about Kiwis. The kiwi is deeply loved by people because it is only found in New Zealand and because of its lovable appearance, and has become one of New Zealand's icons. For example, New Zealanders have a nickname, 'kiwi', and when they say 'kiwi food' they mean 'New Zealanders' food'. The kiwi's presence in the country can also be seen on the \$2 coin and in the many restaurant, shop and business names in the country that use the word 'kiwi'. The name kiwi was given by the Maori because of the way the males sound. And the kiwifruit, New Zealand's most iconic fruit, was given its name as a symbol of New Zealand because of its round, brown appearance and resemblance to the bird, the kiwi. The kiwi is about the size of a chicken and around 50 cm long. Its wings have completely degenerated and it cannot fly, but instead it has strong legs and can run as fast as an ostrich. They are nocturnal and roam the forests at night, catching and eating insects with their long bill. They also feed on fruit. During the day they spend their time in holes in trees. They do not have good eyesight, but they have nostrils that are more pointed at the tip of their beak than other birds, and they have a good sense of smell.

Their biology is very unique, for example, kiwi eggs are huge, weighing up to a quarter of the mother bird's weight, and the male keeps the eggs warm for two and a half months to incubate them. In English, the term 'kiwi husband' means a New Zealander husband who handles the housework and child-rearing, which is also a reference to the fact that the male kiwi diligently keeps the eggs warm.

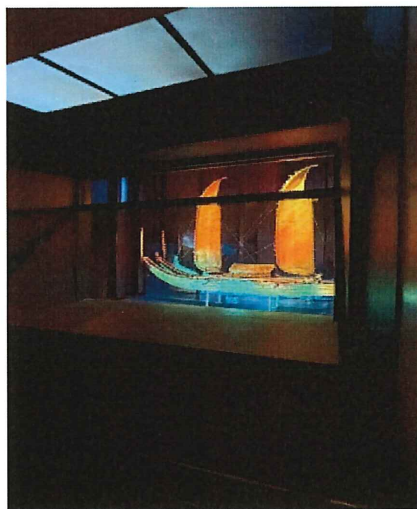
Despite this widespread popularity, the kiwi population is unfortunately declining. As a flightless bird, its eggs and parents are often preyed upon by foreign mammals, and it is now listed as an endangered species. Originally, New Zealand was an island nation with no mammals other than bats and fur seals, so birds did not need to fly away from foreign enemies, and many birds' feathers have degenerated. Some 10 million birds once lived in New Zealand under the unique ecosystem of the New Zealand Islands. However, the number has plummeted to around 30,000 birds because they are not very wary of humans, and because humans used kiwis as a food source and their chicks were easily eaten by pigs, cats and other mammals introduced by humans.



In recent years, therefore, projects to breed kiwis and return them to the forest have been undertaken in many parts of the country. Hunting has been banned and population surveys are conducted regularly. The New Zealand Nature Conservancy is also committed to protecting the kiwi. It aims to manage populations of animals that are natural enemies of the kiwi and to track kiwis on an individual basis. In addition, efforts are being made to increase genetic diversity.

ウェリントンはとても素敵な街でした。パラパラウムから電車で約 1 時間。電車の中からは海や山が見えて、それらはとても美しく長閑な景色でした。ウェリントンに着くと、街を歩きながら現地のガイドの方に国会議事堂や歴史ある建物を案内してもらいました。ケーブルカーで丘に登り、ウェリントンの街と海を一望しながら昼食を買って食べました。上がっていく途中のトンネルのライトショーも綺麗でした。その後、ニュージーランド国立博物館テ・パパ・トンガレワに行きました。NZ 最大級の博物館で、ニュージーランドの文化や歴史、環境に特化した展示品を見学できました。ニュージーランドは特にマオリの展示と世界最大のイカであるダイオウホウズキイカは印象的でした。一日中居られるくらい広く、様々な展示物があったとても面白かったです。

牧場では普段触れ合えないたくさんの動物にエサをあげることができて癒されました。夜のキウィは本当にラッキーだったので興奮でした。ニュージーランド研修を通してたくさんの素敵な経験ができて良かったです。





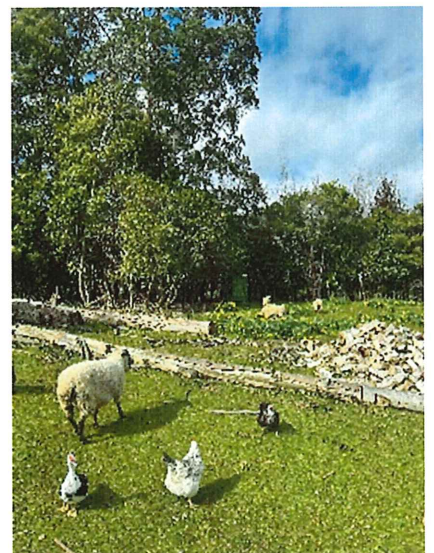
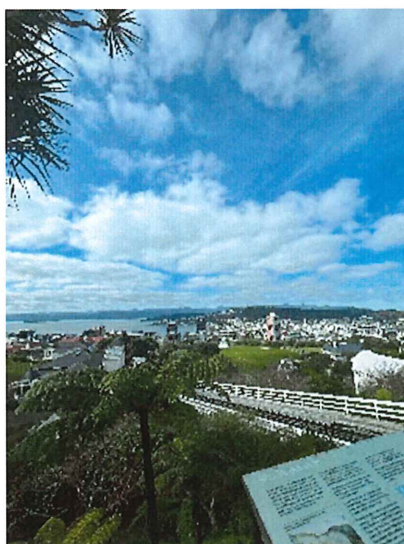
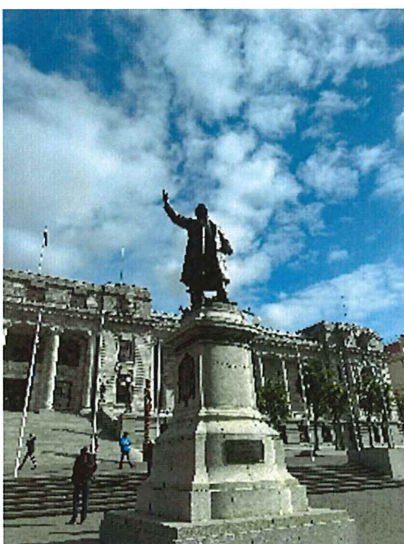
Upon arriving in the city of Wellington, I found it to be such a wonderful place for sightseeing; its beautiful waterfront and the mountain view create stunning landscapes. We took an amazing cable car ride to the hilltop to get a panoramic view of Wellington and the bay. After that, we visited the Te Papa Museum to learn about the Maori, the indigenous people of New Zealand, and their culture.

It was a rather busy day because, in the evening on the same day, we went out in a van to see kiwi birds at Nga Manu Nature Reserve. The birds are the symbol of the country but not many people have actually seen them! We were so lucky and able to see a pair of kiwi birds in the dark! They were so fluffy and cute!

On another day, we all visited a farm near the college after school. Although I really wanted to touch the sheep there, they ran away as soon as I approached them. Instead, we were able to feed a lot of birds and enjoyed spending a relaxing time outdoors. We hardly got tired of getting impressed with the beautiful surroundings abundant in nature and pretty streetscapes while we were staying in New Zealand!

ウェリントンに着いたらまずニュージーランドの国会議事堂を訪れました。神殿のような見た目で、とても歴史を感じられる建物でした。ウェリントンの街を歩いていると急にケーブルカー乗り場があらわれ、各自昼ご飯を買ってケーブルカーに乗りました。丘を登ると、そこからウェリントンの街と綺麗な湾が一望できてとても感動的でした。見晴らしのいい場所で遠足気分食べた昼ご飯は絶品でした。次はテパパミュージアムに向かいました。そこではニュージーランドの先住民族であるマオリについてよく知ることができ、1日滞在できるぐらい見どころがたくさんありました。丸一日ウェリントン観光を楽しんだ日の夜は、ニュージーランドのシンボルであり、伝説級のポケモンぐらい見るのが難しいといわれているキウイ（鳥）を見に行きました。見れたら本当にラッキーと聞いていたので、どんなに見るのが難しいのだろう、と心配していたけれどすぐ出てきてくれました。丸い体でふわふわしていて可愛らしかったです。後日は広大な自然あふれるファームを訪れて鳥や羊、馬などと触れ合いました。

ウェリントンは豊かな自然と綺麗な街並みが調和した魅力あふれる場所でした！





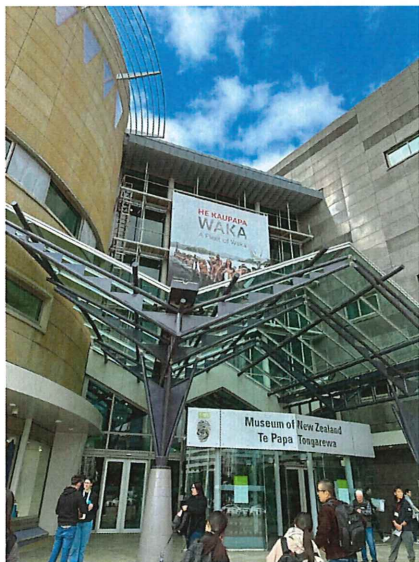
The day I visited the farm was a beautiful day and there were 3 dogs, about 8 sheep, goats, chickens, ducks and 2 horses. I fed them and spent some time with them. It was my first experience to feel sheep's wool, and it was so fluffy and soft. It was a lot of fun being with the animals so close in a very nice farm.

The Museum of New Zealand Te Papa Tongarewa is one of the largest museums in New Zealand, where you can learn about the history of New Zealand. It is located along the coast on Cable Street in Wellington. The six-story building has various exhibits, a coffee shop and a souvenir shop specializing in New Zealand culture and environment. I was particularly impressed by the Maori exhibit and the specimen of the giant squid, the world's largest squid.

I think I was extremely lucky to have had such invaluable experiences this summer in New Zealand. During the program, I always had something new to learn, which I am sure will be useful in my future when I go overseas for business or to enjoy my holiday. I would like to make the best use of things I have learned to grow as a person.



ウェリントン観光の中で、牧場に行ったことが記憶に残っています。馬や羊などの色々な動物に触れ合え、日本ではそういった機会がなかったので新鮮でした。特に、ニュージーランドでは一般的にラム肉が食べられるほど羊が多く飼育されていますが、日本ではラム肉はなかなか出回っていないので日本との食文化の違いも確認できました。なにより広々とした牧場で動物と触れ合いながら生活できることに憧れを持ちました。



記憶に残ったことの二つ目はテパパミュージアムに行ったことです。そこではニュージーランドの全ての歴史や文化について学ぶことができ勉強になりました。一番印象に残ったことはニュージーランドの国鳥であるキウィです。キウィについて事前学習はしていましたが、歴史や生態についてより詳しく学べました。大きいものでは自分より2倍ほど大きく、自分の体重を測ることでキウィの実際の体重を実感できたのがとても分かりやすかったです。今回の経験は、決して誰もができるわけではないとても貴重なもので、どの場面でも学ぶことがたくさんありました。これらは、自分が将来、仕事や旅行などでニュージーランドに限らず外国に行く時、必ず役に立ちます。自分もこの経験を生かして、これからに繋げていきたいと思います。

## Mission 5: Auckland

Our last day was spent in Auckland, the biggest city! We did lots of shopping, went on a university tour, and in the evening met some graduates who live in New Zealand.

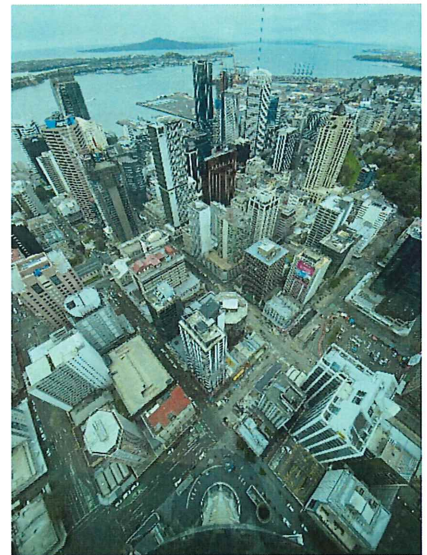
### The Lesson I learned in New Zealand

高2 和田美菜季

We visited the Auckland city on the final day of our New Zealand trip. While traveling on the bus, I found the view from the window was really attractive. Walking up and down the hilly streets downtown, we enjoyed sightseeing, including the Sky Tower, which is the tallest building in the Southern Hemisphere. We saw someone jumping off the top of the tower for fun, but I was horrified just by walking on the glass floor 186 meters high above the streets! It was really exciting to see the panoramic view of the entire city from above.

Also, we should not forget visiting the campus of the University of Auckland. On the exact day we visited there, they were having the university open day, and the campus was so busy with students! A student from Tahiti was our guide, showing around the modern campus buildings.

The New Zealand tour taught me that it is important to speak English to communicate with people from other countries. I really appreciate this opportunity which helped me broaden my horizons. I'm sure this experience will help me in many ways in the future.



私たちは5日間ウェリントンの現地校で研修をした後、研修の最終日にオークランド観光に行きました。オークランドには高い建物やとても急な坂道がたくさんあり、ウェリントンの自然豊かな雰囲気とは違ってにぎやかな街でした。私はスカイタワーという南半球で最も高い建物に

上って市内を一望することができました。またオークランド市内にいた人々の出身国は様々で、いろいろな言語を耳にすることがあり、違った言語を話す人がたくさんいるからこそ、他国の人とコミュニケーションをとり、関係を持つためには英語が必要不可欠だと改めて思いました。実際、私たちのグループを大学案内してくれたオークランド大学生はタヒチの出身でしたが、彼は英語も日本語も話す人でした。英語にとどまらずたくさんの言語を話すことができるのも、自分の視野を広げるのに大切だと思いました。今回の研修を通して学んだことや経験したことをこれから活かしていきたいです。







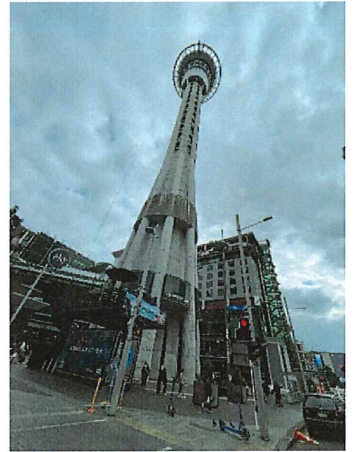
僕たちは、5日間のホームステイとパラパラウムカレッジでの研修を終え、最終日にオークランドへ移動し市内観光をしました。

オークランド大学は、アルバート公園に隣接していて、公園がそのまま広がったような緑の多いキャンパスで、白くて背の高いクロックタワーは、まさに大学のシンボルでした。この大学は、ニュージーランドで一番大きく、世界中から留学生が来ているそうです。自分がここの学生である姿を想像して「また来たいな」と思いました。

オークランド市には、東京スカイツリーに似たスカイタワーがあり、高さは328Mで、南半球で一番高い塔です。上ったメイン展望台は、360度の景色が最高でした。フロアを進むとガラスの床があり、覗くと地上の車や人が小さく見え、足がすくみました。

ウェリントンもオークランドもとても素晴らしい町で、出会った人たちはとても温かい人ばかりでした。

この研修は、自分にとって貴重な体験になりました。



### The university of Auckland campus tour and Auckland sightseeing

We did a homestay and attend school for 5 days in Paraparaumu. We had a great time with my host family and buddy. At the end of the trip, we moved to Auckland for sightseeing. Auckland was also a good place!!

The local tour guide took us around the university campus. The tour guide was a university student. He was friendly and very knowledgeable. The university is next to the Alberta Park, it's nice to be surrounded by trees. I was impressed by the university's symbol "Clock Tower". It was tall and so beautiful!!

This university is the biggest in New Zealand. There are many international students from all over the world. If I have a chance to visit Auckland, I'd like to explore this University. There is a sky tower similar to the Tokyo Sky Tree. The height of the tower 328m which is the tallest in the southern hemisphere. The observation deck has some glass floors. The view of the ground from the glass floor was so scary. But from the observation deck of sky tower, we can enjoy the wonderful view.

I had a great time in New Zealand. I definitely want to go to NZ again!!



今回のニュージーランド研修で私達は、土佐高校の卒業生であり、現在仕事をしながらニュージーランドで暮らしている小松聖児さん、小松紗貴子さんご夫妻のお話を聴きました。聖児さんは土佐高校を卒業後に、アメリカのユタ大学に進学され、現在はニュージーランドに開発拠点を置く Rocket Lab でチームリーダーをされています。紗貴子さんは Irodori Branding 株式会社というブランディング会社のプロデューサーとして、ニュージーランドにしながら日本の会社で働かれています。

聖児さんは高校2年の終わり頃に海外の大学に行くことを決め、そこから受験勉強をシフトさせていったそうです。聖児さんは海外に出て後悔したことは一切ないそうですが、最初は現地の人が話していることが全く聞き取れず、語学学校にも通いながら半年ほどしてやっと授業がなんとなくわかってきたそうです。大学時代は、学生寮に住んでいて平日の放課後はもちろんのこと、休日にも宿題や勉強をし、たまに



キャンプなどで息抜きをしていたそうです。紗貴子さんは、聖児さんとの結婚を機にニュージーランドに移住されたそうで、日常会話には十分なれてきたけれど、病院などで聞く専門用語の聞き取りなどは今でも大変だとおっしゃっていました。

聖児さんはまず、学校英語と海外での実践英語との違いについて話してくれました。今回の研修で私達も実感しましたが、海外での日常会話では学校で習う基本的な文法以外の複雑なものや、難しいイディオムなどは使いません。それよりも普段のOC（オーラル・コミュニケーション）の授業などでコミュニケーション力を高めることがとても役に立ちます。しかし、学校で習う文法を習得しなくてよいわけではありません。聖児さんは海外の大学での勉強や海外の人との仕事を通じて、「読み書きにおいて日本の英語の授業はとても大切で、学術的な面でとても役立つ」とおっしゃっていました。

やはり海外で活動するなら学校の勉強と、コミュニケーション力の両方を頑張ることが大切だそうです。オススメの勉強法は英語で書かれた「絵本」を読むことだそうです、習ったことのない表現が沢山載っているそうです！

今回のニュージーランド研修で私達は、国内だけでなく海外の進学先も視野に入れることで、自分より合っている場所を見つけることができる、自分の可能性をもっと広げられると実感しました。また、聖児さんもおっしゃっていましたが、国籍や年齢の違う様々な人と出会うことで世界や考え方が広がり、英語のコミュニケーション力だけでなく、人間的にもとても成長できました。貴重で素晴らしい経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



On the final day of our tour, in Auckland, we had a great chance to meet Tosa's two graduates living and working in New Zealand. Mr. Shoji Komatsu has been working for the company called Rocket Lab, which is focusing on developing rockets and satellites. Mrs. Sakiko Komatsu is a producer of the consulting company called irodori Branding. I was impressed to learn about how and why they reached where they were.

Mr. Komatsu has a unique and interesting trajectory in life. He was a member of Tosa soccer team, just like me! After graduating from Tosa High, he entered the University of Utah in the U.S. Asked when he decided to enter a university abroad, he said that, by the time he became a third-year student, he had made up his mind to do so, and had started his preparation for it.

I could only imagine how difficult it would be to learn English to the highest level at which Mr. Komatsu is now. We learned that he had to struggle in an early stage of his studies at the university, trying to catch whatever was discussed around him. Even though he admitted that studying English in high school as a school subject was simply not enough to live and study in the U.S., he emphasized the importance of acquiring good vocabulary and grammar which are both absolutely necessary in academic writing. He told us that being good at communication in English was one thing, and being recognized as a professional through producing high-quality papers is totally different and critical if you want to develop your career internationally. It was rather interesting to know that one way of improving his colloquial expressions is by reading his son's picture books!

Another point Mr. Komatsu made to us is that, through meeting people who have different views and values from us, we can expand our horizons. Our homestay program in New Zealand was indeed the greatest opportunity for me to start thinking about my future career path, including studying at overseas university.

I would like to express my gratitude to everyone who has helped us in making this opportunity happen.





## Final Thoughts

Tom Richardson

This summer, twenty students took hold of a great opportunity. Helped by their families, friends and teachers, they jumped into a new adventure. They left the comfort of their Kochi lives behind, and took a journey to a completely different land.

Nervous? Of course!

Confident? Not very!

Prepared? A little!

Perfect at English? Not at all!

But they all had a willingness to take a new challenge; to push themselves to use English, not as a subject to study, but as a way of opening new doors, making new friends, and overcoming any obstacle they would face!

As you have read in these essays, each student had a unique experience and each faced their own difficulties, but I can honestly say that at the end of the tour, they had all changed for the better! They were stronger, brighter, more able to communicate and of course much more positive about English and the world beyond their lives in Japan.

It is too soon to know how this experience will affect their futures, but when I heard their final speeches at the leaving party, when I saw the tears in the eyes of new friends and families, I realized that...

**Shunichiro, Kiwamu, Hinako, Aoi, Sayumi, Yumi, Chihiro, Akari, Misaki, Ayaka T, Yuka, Nanaka, Kazusa, Ryoji, Honoka, Noriko, Masatoshi, Ayaka K, Mao and Ayana**

...would never be the same again.

It was a privilege to see that transformation happen, and I really hope that study tours like this will continue to be an important part of Tosa High School's yearly program, benefitting students who are ready to positively use English to change their lives.





Thank you for all the memories!

